

ぼくのノオト

⑨8 熊を撃つ

千年以上前、鳥海山麓を訪れた空海は、法体の滝の美しさに魅了された。多くの狩猟鳥獣が棲息し、人家百戸あっても豊かに暮らせるその地の集落を百宅ももやけと称するがよいといった伝説がある。

山に入った百宅のマタギは、山や獣たちへの畏怖の念を持ち、里言葉ではなく山言葉を使った。保護でも駆除でもない、共生するために熊を撃つ。撃った熊は山の恵みとして、爪のひとつ、血の一滴まで無駄にしない。熊谷達也著『相剋の森』には「山は半分殺してちょうどいい」とある。共に生きるとは、そういうことなのだろうか。

地図でやっと探した百宅を訪ねてみた。しかしそこにあったのは、重機車両があわただしく行きかう殺伐としたダム工事現場だった。

山人の文化、生活の技と知恵。人が自然の中を生き抜くヒントが、ダムの底に沈められていく。



認定NPO法人 いわき放射能市民測定室

たらちねクリニック

院長 藤田 操

〒971-8162 福島県いわき市小名浜花畑町11-3 カネマンビル3階

Tel.0246-38-8031 診療科目 内科・小児科／診療時間 午前9時～12時・午後2時～5時(受付は30分前)／土・日・祝日休診